歩行車保証書

型　式	
お客様	様　TEL 〒　　　ー
取扱店	
保証期間	お買上げ日 年　　月　　日より 本体は1年間

本保証書は、記載内容の範囲内で無料修理をさせていただく事を保証するものです。

【修理規定】

1 本保証書は本体のみの保証となります。
2 取扱説明書、本書注意ラベルなどの注意書きにしたがった使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理いたします。
3 保証期間はお買上げ後一年間です。
4 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
＊取扱上の過誤、不注意、また不当な修理や改造を加えた場合での故障・損傷
＊天災地変などの不可抗力によって生じる損害や故障
＊タイヤや前腕支持台等の消耗品
＊保証書のご提示がない場合
＊保証書にお買上げ年月日、氏名、販売店名の記入、捺印がない場合。
5 本書は国内のみ有効です。

本保証書は再発行は致しませんので大切に保管してください。

株式会社ウェルパートナーズ
〒700-0923
岡山県岡山市北区大元駅前6-21
TEL086-227-0131
FAX086-227-6132

歩行補助車
「ラビットシリーズ」

WA-1　WA-2　WA-3　WA-5　WA-6

ご使用になる前に必ずお読みください。
またこの取扱説明書は必ず大切に保管をしてください。

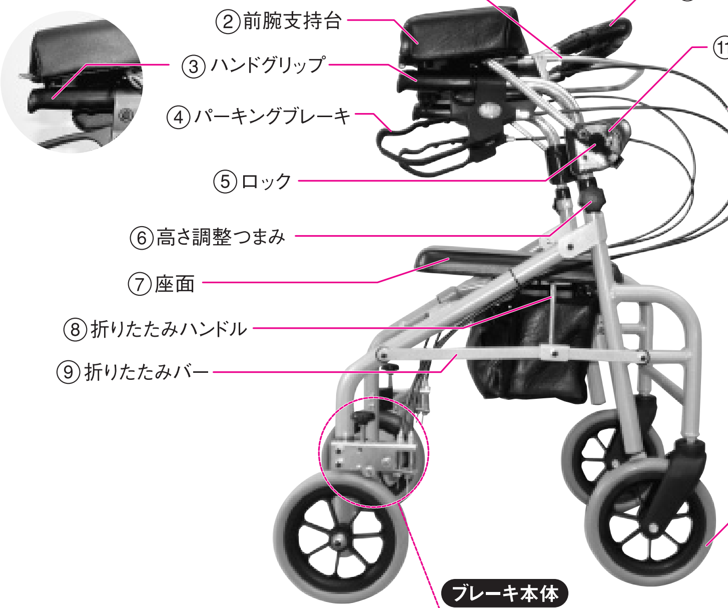
⚠ 安全上のご注意

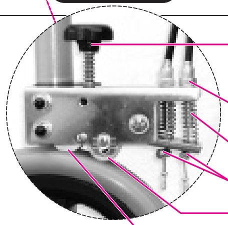
※前腕支持台の回転フレームが必ずロックされているかどうか、確認してください。
※左右のブレーキが確実に効くかどうか、またループハンドルブレーキが機能しているかどうか、必ず確かめてください。
※ねじ類などゆるみがないか必ず点検してください。
※タイヤ及びブレーキの磨耗が無いか定期的に点検し、必要に応じて交換等を行ってください。

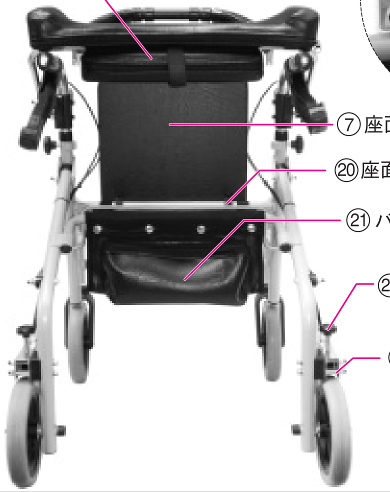
⚠ 使用上のご注意と警告

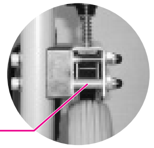
※歩行時は必ずループハンドルを握ってご使用下さい。ループハンドル以外の部分を持って歩行しないで下さい。転倒してケガの恐れがあります。
※歩行中ループハンドルは握るだけにして、決してループハンドルに体重をかけないでください、転倒する恐れがあります。
※段差や凹凸のある路面を歩行する際は、転倒しないようにご注意下さい。
※交通量の多いところ、混雑しているところ、また夜間での使用はできるだけさけてご使用ください。もしご使用される場合は、必ず付き添いの方と一緒にご使用下さい。また急勾配な場所では絶対にご使用にならないで下さい。
※ブレーキをロックしたままご使用にならないで下さい。タイヤの磨耗、転倒の恐れがあります。
※水や泥などがある場所、また雨や雪、風の強い日などの悪天候では使用しないで下さい。
※座席シートを使用する場合、必ずパーキングブレーキをかけて下さい。傾斜地ではご使用しないでください。
※座面に立ち上がったり、踏み台代わり等には絶対ご使用にならないで下さい。また座席シートに人を乗せたまま移動をしないで下さい。
※ハンドルの左右の高さは必ず同じにしてください。バランスを崩して転倒の原因になります。
※使用する上で指など挟まない様十分注意をしてご使用下さい。
※ハンドグリップをもって歩行される場合は、ハンドルの高さを腰よりも低い位置までさげて、使用してください。

ラビット歩行補助車 各部名称
WA-1 / WA-2 / WA-3 / WA-5 / WA-6

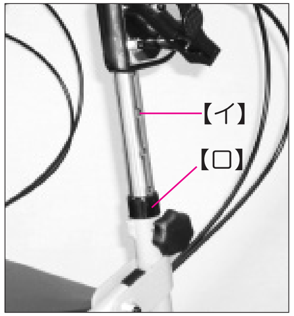








【ハンドルの高さ調整】



WA-1	高さ調節穴8段階
WA-2 WA-3	高さ調節穴7段階
WA-5	高さ調節穴9段階
WA-6	高さ調節穴4段階

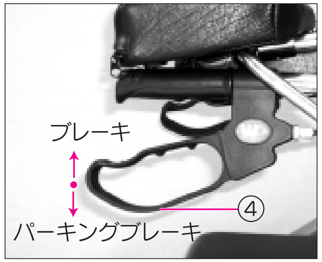
＊高さを合わせる際は、高さ調節つまみは完全に抜いて行ってください。
＊パイプ【イ】の穴にパイプ【ロ】のキャップ上部の位置をあわせるとつまみがスムーズに入ります。
＊左右の高さを合わすには、左右のパイプの見えている穴の数を合わせてください。

注意!!

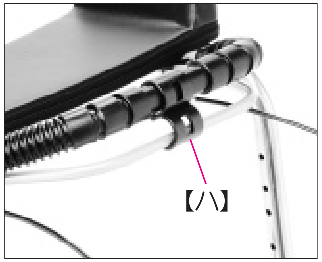
必ず左右同じ高さにしてください。（バランスを崩して転倒、破損の恐れがあります。）
高さ調節穴の位置を確認して高さ調整ボルトをねじ込んで下さい。
無理にねじ込むと壊れる恐れがあります。

【ブレーキの仕組み】

パーキングブレーキをかける



WA-2／WA-3／WA-5／WA-6



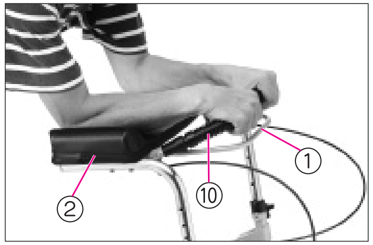
WA-1

＊パーキングブレーキ④は中段がニュートラル（歩行時）になります。
＊ニュートラルから上に引き上げるとブレーキがききます
＊ニュートラルから下に押し下げるとパーキングブレーキになります。
＊WA-1の場合は、ループハンドルの中央についているループハンドルストッパー【ハ】を前ブレーキレバー①にひっかけると、パーキングブレーキになります。

警告!!

WA-2、3、5、6のパーキングブレーキをかける時、④を必要以上に下に押し下げると、
ワイヤーの破損の原因になります。

【歩行時】



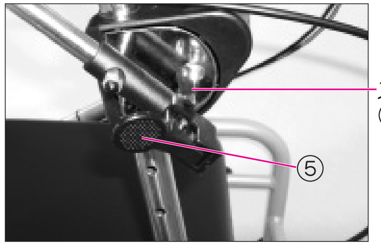
＊前腕支持台②に腕を預けて、ループハンドル⑩を握って歩行してください。
＊歩行時ブレーキを掛けたい時は前ブレーキレバー①を握ってください。

警告!!

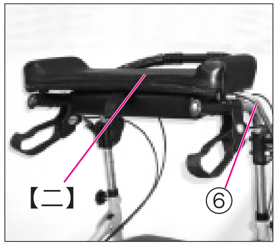
歩行中ループハンドルに、決して体重をかけないで下さい。転倒の恐れがあります。
ループハンドル⑩、前ブレーキ①に体重をかけたり、持って移動すると前腕支持台②のガタつきの原因となります。

【休憩時】

前腕支持台を背もたれにして、イスとして使用できます。
（WA-2／WA-3／WA-5／WA-6のみ）



【写真1】



【写真2】

＊はじめにロック⑤を外します。（写真1）※WA-1にはない機能です。
＊その後写真2のように【二】の部分を前方向に押しながら、回転フレームがストッパー⑪にあたるまで動かしてください。
＊元の位置に戻すときは、【二】の部分を手前に引きながら、元の位置に戻してください。元の位置に戻るとロックが自動的にかかります。ロックが完全にかかっているか必ず確認してください。

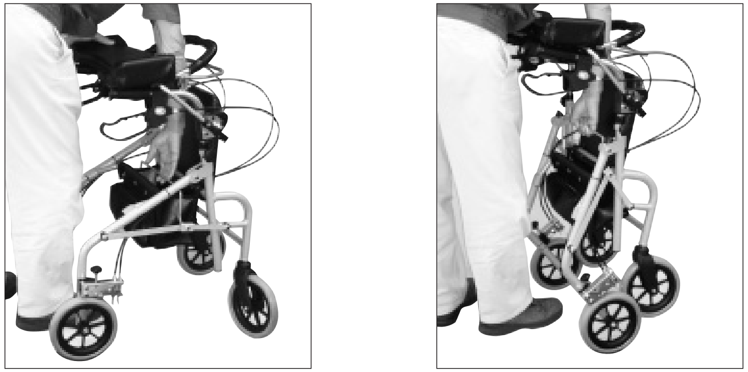
注意!!

座席シートに座る際に、前腕支持台②を支えにして座らないで下さい。
転倒の原因になり、非常に危険です。

注意!!

バックに荷物を収納する時などに座面を起こす際に座面を必要以上に押さないでください。
座面ストッパーの破損の原因になります。

【折りたたみ方】



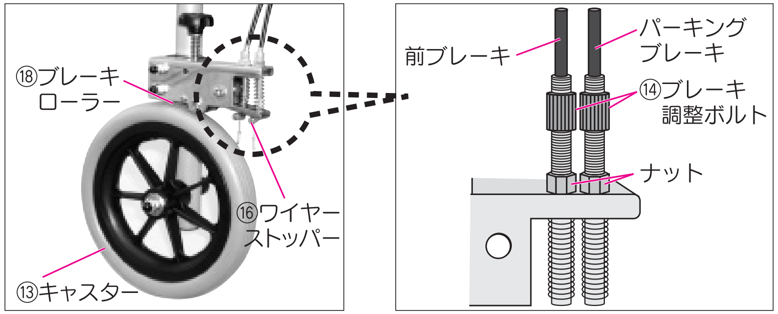
【写真1】

＊必ずパーキングブレーキ④をかけてから、写真1のように座面⑦を上げて
　折りたたみハンドル⑧を上にひきあげてください。
　簡単に歩行器が折りたためます。
＊オプションのかごを取り付けている場合は、必ず外してからおこなってください。

注意!!

パーキングブレーキ④を必ずかけてから、パーキングブレーキのかかった後輪を軸にして、
壁等に立てかけて収納して下さい。

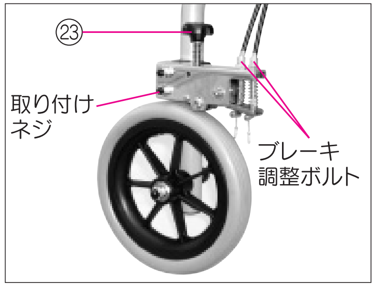
【ブレーキ調整の仕方】 出荷時はブレーキが効く様に調整しています。



使用していると、ブレーキワイヤーが伸びてきたり、タイヤの磨耗等により
ブレーキの効きが甘くなりますので、適時ブレーキの調整を行ってください。

＊初めにワイヤーストッパー⑯がゆるんでないか確認してください。
＊次にナットをゆるめて、ブレーキ調整つまみを調整したのち、ナットを締めて
　固定してください。
　(右回り…ゆるむ(ブレーキの効きが甘くなる) 左回り…しまる(ブレーキの効きが強くなる))
＊まれに、高さの調整で高くした場合に、ブレーキの効きが甘くなる事があります。
　その場合も上記の手順で調整して下さい。
＊ブレーキ調整ボルト⑭の締め過ぎ（左回り）に注意して下さい。
＊ブレーキを調整した後、必ず前腕支持台を回転させた状態で、ブレーキローラー⑱と
　キャスター⑬が接触していないか確認して下さい。

【スピード調整の仕方】



スピードコントローラー調節つまみ㉓を時計回りに回すと、キャスターの回転が重くなり
ゆっくりとした歩行ができます。逆に回すと回転が軽くなります。

注意!!

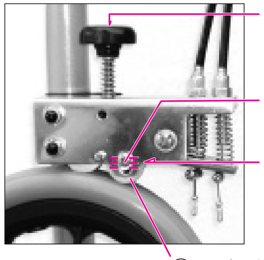
必ず使用される方の歩行スピードに合わせて調整してください。
歩行器が必要以上に体から離れると転倒する等の事故になります。
スピード調整はブレーキではないので、締め過ぎないでください。

歩行時スピード調節を必要としない場合

スピードコントローラー⑰とタイヤの間隔が
3～5m/m程あくようにスピードコントロー
ラーつまみ㉓を右に廻して緩めてセットして
ください。
（三本のラインは目安にしてください）

歩行時スピード調節を必要とする場合

ツマミを右廻りに締めてください。
（スピード調節は効き出します）



【オプションかごの取り付け方】

座面回転フレームにひっかけるだけの簡単装着です。